

## 『マニ・カンブン』における葬儀法 ——観自在菩薩の瞑想法王統流 (dmar khrid) ——

槇 殿 伴 子

### はじめに

『マニ・カンブン』は古代チベット王ソンツェンガンポ（没650）の「遺言書」として伝承されたチベット仏教の聖典である。作者はソンツェンガンポ王に帰される。王は大悲心者観自在菩薩の化身とみなされている。『マニ・カンブン』の「目次」に、『マニ・カンブン』の内容は、観自在菩薩の六字真言（オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン）であり、三巻に大別されると述べられている<sup>1)</sup>。三巻は「経巻」「成就巻」「口伝巻」と名付けられている。『マニ・カンブン』の成立時期で明確な年代は、「口伝巻」の「発見者」であるニャンレル・ニマ・ウセルの生存期（1124–1192）である。私見では、「成就巻」と「口伝巻」に含まれる中有（bar do）の内容を比較・検討すると、「口伝巻」の内容が、「成就巻」の内容に解説を施す形で拡大されたのではないかと思われるため、「成就巻」は「口伝巻」より遡る可能性もある。

『マニ・カンブン』には死者の葬儀法についての記述が「成就巻」と「口伝巻」に現れる。「成就巻」の「六字真言成就法」の章では、火葬が説かれ、「口伝巻」の「自利のための口伝」の節では、火葬と鳥葬が説かれている。「成就巻」に説かれる葬儀法は、観自在菩薩の成就法を指南する「実践指南」（dmar khrid）に含まれる<sup>2)</sup>。観自在菩薩の成就法には幾つかの系譜があるが、特に『マニ・カンブン』の系譜は「王統流」として伝えられている<sup>3)</sup>。観自在菩薩の成就法は多岐の活動に渡るが、その一つが葬儀法である。

観自在菩薩と葬儀法との関連については、サム・ファン・シャイク（あるいはスカイク）（Sam van Schaik）がロルフ・スタイン（Rolf Stein）とアリアンヌ・マクドナル（Ariane Macdonald）の研究に言及しながら指摘している<sup>4)</sup>。マリー・テレーズ・ド・マルマン（Marie Therese Mallmann）は、観自在菩薩の役割として、死者の引率者であることを指摘している（Mallmann 1948: 90; Makidono 2014: 170）。もう一つの「ソンツェンガンポ王の遺言書」である『カチェン・カクルマ』では、阿弥陀仏が、観自在菩薩に、極楽浄土に衆生を連れて来るように言い渡す（BCKKMB p. 19. 14-16）。マシュー・カプシュタイン（Matthew Kapstein）は、後に『チベットの使者の書』として知られるようになった、中有（四十九日）の実践を伴う仏教の葬儀法は、中国妃ジンチェンによってもたらされたと指摘している<sup>5)</sup>。『マニ・カ

ンブン』の英訳を完成したツェリン・ティジン・リンポチェ（Tsering Trizin Rinpoche）は、「口伝巻」の「自利のための口伝」と題された葬儀法の一つの項目（追善供養を自分自身で行うこと）は、ソンツェンガンポ王の中国妃コンジョが確立したと記している<sup>6)</sup>。「成就巻」の「実践指南」には中有が解説されており、それは「実践指南」に含まれるカギユ宗の密教の実践の「ナーローの六法」の一部でもある<sup>7)</sup>。

『マニ・カンブン』は如来蔵思想を説く經典であり（槇殿2021a）、『マニ・カンブン』に説かれる自心仏と即身成仏の教え<sup>8)</sup>が葬儀法にもみられる。拙稿（槇殿2022ac）で示したように、「実践指南」の大綱は、仏性常住である。観自在菩薩を守護尊とする実践修行者が、仏道における基・道・果のいずれにおいてもいかなる時でも観自在菩薩と離れることなく、修行者の心身が仏であることを瞑想の中で実体験する方法を指南する<sup>9)</sup>。『マニ・カンブン』においては、観自在菩薩は大日如来とみなされる<sup>10)</sup>。このような『マニ・カンブン』における密教教義は文献学的見地から真言宗における即身成仏思想と相応していることが確認できる<sup>11)</sup>。ソンツェンガンポ王が観自在菩薩の化身として描かれていることが、即身成仏思想を具現化しているとも言えよう。「実践指南」の葬儀法においても、実践修行者と観自在菩薩が瞑想の中で一つとなり、心が仏となる瞑想実践が説かれる。「成就巻」における「六字真言成就法」の根本タントラでは、葬儀法が六つの項目のみ（1. 屍体の洗浄、2. 壺の儀礼、3. 屍体の火葬、4. 諱の浄化、5. 入墓、6. お斎）列挙されている。その章に続く解説部が、本稿で示す箇所であるが、その解説部では、本稿で用いたプナカ版と、参照したテには第一番目の「屍体の洗浄」の項目がない。「諱（おくりな）・諱（いみな）の浄化」の節では、阿弥陀仏の西方極楽浄土への授記が説かれる。『マニ・カンブン』が浄土教の經典であることがここでも確認できる。

「口伝巻」の「自利のための口伝」の節は六項目によって説かれる。

第一に、六字真言は如意宝珠であり、布施が説かれる。自分自身の子供、友人と財産一切を無執着に、望まれるまま六道衆生に布施することから生ずる功德より大きな功德はないことを説く。その理由は、福德資糧を積み、心の浄化（sems sbyong ba）となるからだと言われている。六字真言を如意宝珠として念誦すれば、一切の望みが叶う。このような布施について他言してはならない。反って、布施をねだっているように誤解され、信用を損なうから、決して他言してはならないと説いている。

第二に、自分自身の追善供養が説かれる。毎月8日、満月の日、21日、29日あるいは新月の日は吉日である。その日に三宝への供養を行う。自分自身を大悲心者だと瞑想し、六道輪廻の衆生への布施を実践する。

第三は、自分の屍体を自分で火葬する瞑想である。五蘊、五毒、分別、執着、愛着、顛習という一切の悪、煩惱と業が燃やされる。自分の心は白い「フリー」（hri）という字になり、

六字真言を唱えたとき、大悲心者の身体になると瞑想する。今生と来世で妨害や障蓋に合わないという功德があると説かれる。ここでの文言は引用されているように見えるが、出典は不明である。

第四は、智慧の刀で屍体を切断し、一切衆生へ、内臓器官など、望みの身体部位を供与することを瞑想にて実践し、身体への執着を離れる。慈悲の槌を持つ。六字真言を唱えるとき、勝ち負けも争いもないと説かれる。

第五に、葬送時の会食が説かれる。自分自身を大悲心者として瞑想し、腹部に座す大悲心者に食事を提供する。六字真言を唱えるとき、甘露で満たされた大悲心者の身体が輝く。

第六は、鳥葬が説かれる。そこでは、自分の屍体は、息子に例えられる明知の若者、すなわち大悲心者と同定されている。六字真言は六道輪廻を断ち切ると功德があると説かれる。屍体は、廬、山、墓場に運ばれ、そこで、屍体を食べる鳥獣は、三身仏（変化身・受用身・法身）に与えられる。

以下に、『マニ・カンブン』における葬儀法の内容を試訳して示す。和訳には、ティジン・ツェリン・リンポチェ（Trizin Tsering Rinpoche）の英訳を参照した。

## 試訳

### I. 「成就巻」における「六字真言成就法」における葬儀法<sup>12)</sup>

#### 1. 「屍体の洗浄法」については記載なし。

#### 2. 壺の儀礼

オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン。壺の儀礼について。(1) 外的な壺の製作は、白い曼荼羅を作る。供物を配置する。自分自身が大悲心者であると瞑想する（rang thugs rje chen por sgom）。壺に本尊を瞑想する（bum par lha sgom）。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」という陀羅尼の中に、三昧耶薩埵（spro）と智慧薩埵（bsdu）を作る。(2) 内的な壺は、寿命が遷移（'phos pa）した時（つまり、死後）の意識を召喚し、除災する。敵から解放されて、意識を〔智慧薩埵を三昧耶薩埵に〕吸引する（dgug gzhus<sup>13)</sup>）。(3) 秘密の壺は、〔死者の〕骨あるいは衣服あるいは諱を洗浄して〔死者の〕罪障を浄める。(4) 真義の壺は、瞑想の中で、業と煩惱を浄化して、法性の意味を見る。(5) 徴の壺は、意識が六道の再生を断じて、菩提に住するようになる。(6) 特徴の壺は、陀羅尼によって成就するとき、死者の住処を浄化する。〔死者の〕屍体自身の善を完成する<sup>14)</sup>。

#### 3. 屍体の火葬

オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン。屍体の火葬について。(1) 外的な屍体の火葬は、屍体を洗い、蘊（屍体）を綿布で包む。六道の転生を切断するために六字真言を唱える。材木に

入れて、火を焚く。(2) 内的な屍体の火葬は、屍体の心臓に、大悲心者を生起して、護摩 (sreg rdzas) の薪が主大悲心者のお顔に行くと思想する。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」を献ずる。(3) 秘密の屍体の火葬は、甘露に融けることによって、大悲心者の尊格たちを喜ばせ、満足させ、死者の障蓋が余りなく尽きると瞑想する。(4) 真義の屍体の火葬は、死者の使者の罪障を浄化し、意識が法界に住することによって、〔転〕生がないと思想する。(5) 徴の屍体の火葬は、明知が止むことなく、法身から色身が衆生利益を途切れることなく為されることを瞑想する。(6) 特徴の屍体の火葬は、遺骨と遺骨の粉末を集めて、ツァツァ (人形型) を作り、〔ツァツァを〕化身と為し、眼前に所依として置く<sup>15)</sup>。

#### 4. 諡 (おくりな)・諱 (いみな) の浄化

オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン。諡の浄化について。(1) 外的な諡は、紙に、死者の名前の刻印を書く。竹筆の第六番目の節を六道衆生の所依として瞑想する。傘と、リボンと、七清浄を献ずる。壺を作り、諡に意識を召喚する。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」と誦して、自分自身 (bdag) を大悲心者として瞑想し、六道の障蓋を浄める。壺で、諱 (いみな) を洗浄する。(2) 内的な〔諱の〕浄化は、諱に意識を召喚する。手前で屍体を瞑想し、曼荼羅に安置する。大悲心者として加持して灌頂する。(3) 秘密の浄化は、六道の再生の門を断ずる。意識を西方極楽浄土に授記する。(4) 真義の浄化は、心 (sems) が法性界において覚者となると加持する。(5) 徴の浄化は、大悲が自現の内から色身が衆生利益を為すと瞑想する。(6) 特徴の浄化は、諱を火にくべて、死者の身体と心を空として印可する。遺灰 (thal ba) をツァツァにしておく<sup>16)</sup>。

#### 5. 入墓と屍体の運搬

オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン。屍体を墓に入れることについて。(1) 外的な墓〔石〕を切ること。屍体を洗浄して、屍体をきれいな綿布で包む。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」と誦する。敵から解放されて、業による逆境 (lan chags) のトルマを放って、供養する。(2) 内的な墓〔石〕を切ことは、屍体に意識を止める曼荼羅に灌頂する。蘊 (phung po) を本尊の曼荼羅にして、貯蔵瓶あるいは墓に入れる。(3) 秘密の入墓は、屍体に悉地をつくって、蘊の肉血を無上守護尊に供物として献ずる。(4) 真義の入墓は、屍体を滴の法身として加持して置く。(5) (記載なし)。(6) 特徴の入墓は、屍体あるいは財宝をつくり、墓場あるいは山に運ぶ<sup>17)</sup>。

#### 6. お斎 (おとき)

屍体を食物として放つことについて。(1) 外的な屍体を食物として放つこと。近親の叔父

と妻と友達などの食事には、「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」と〔誦して〕、誰にでも適するように広大に美味しく加持する。(2) 内的な屍体の膳は食事をトルマとして、死者を金剛の階位に置き、ご馳走を分け前として回向する。(3) (記載なし) (4) 真義の屍体の膳は、死者の利益のために、十善業を行い、無上覚者として回向する。無縁 (dmigs pa med pa) として印可する。(5) 徴の屍体の膳は、読誦など、十善業を成就する。(6) 特徴の屍体の膳は、屍体を引き出して、ご馳走する<sup>18)</sup>。

## Ⅱ. 「口伝巻」における「自利のための口伝」の節<sup>19)</sup>

### 序説

オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン。大悲心者に帰命いたします。〔これは〕大悲心者の化身、護法王ソンツェンガンボの口伝〔です〕。自利のために、特に秀でた口授を道とすることに六つある。(1) 〔生前に〕自善行を自分ですることで一つ、(2) 追善供養を自分自身で行うことで二つ<sup>20)</sup>、(3) 自分自身の火葬を自分ですることで三つ、(4) 自分自身の葬送を自分で行うことで四つ、(5) 自分のお斎（おとき）を自分で与えることで五つ、(6) 自分の屍体を自分で運んで埋葬することで六つ<sup>21)</sup>。

### 1. 自善行

第一。自分の善行を自分で行うことについて。大悲心者による法典が何をして、慈悲と空が繋がる必要がある、最初に必ず、「わたしは、一切衆生の利益のために、息子と娘と友人と財産などを、三輪清浄で、六道衆生に布施する」と思って、瞑想する。自分自身を大悲心者として刹那に生起して、最勝布施の手印を持って、自分の息子、娘、財産など一切を、六道衆生に何でも欲しいものを布施する。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」と誦するとき、何でも望んだものが生ずると瞑想する。さらに、自分の眷属と財物を損ねるのかと思うなら、脳裏で布施していないので、執着に捕らわれて、福德の資量にならない。無執着、無固執に布施するなら、今生で眷属と財産が増加する。病気と苦が寂滅して、来世に無量の財産と功德を獲得するだろう。さらに、人に、このように、三輪清浄を布施する手段があると話してはならない。というのは、「ならば、あなたはわたしの息子と娘と財宝などが欲しいのか」と言って、信頼を失うからだ。それは、悪魔の言葉に入っている、他の人には秘密にするのが重要である。世間では、善をたくさん行うのが功德が大きいが、「多くの中の一巡<sup>22)</sup>」にすぎない。六道衆生に布施などをする心が浄化される (sems sbyong ba) ので、この功德より大きい功德はない<sup>23)</sup>。

## 2. 追善供養

第二。自分自身の追善供養を自分で行うことについて。第8日目と、満月の日と、21日目と、29日目、あるいは新月の日の、それらの日の間には7日ずつあるので、それらの吉日に、自分に見合った、できるだけの分を三宝に供養する。六道衆生への布施を成就する。自分自身を大悲心者として瞑想する。どんな分量でもいいので、布施を成就する。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」と7回誦する。六道の衆生に、何でも望みのものと必要なものが生ずると観想して、布施をどんな形で成就する。

三界は清浄土

三つの〔輪廻転生の〕世界は慈悲の客

残りなく遍満する物質

法性を悟得する力で

無尽蔵に回向する。

と三回唱える。欲界、色界、無色界の三〔界〕すべてが大悲心者の浄土だと観想する。上は天と阿修羅の世界、中間は人間と畜生の世界、下は地獄と餓鬼の世界で、三つの〔輪廻転生の〕世界を慈悲の客と為して、六道衆生に大小と勝敗なく遍満させて、法性の意味を持つ、空と慈悲の双連の力で、無漏の宝蔵として回向する。このようにして、毎月、四つの贈り物を送って、追善供養を絶えず行えば、今生で、障蓋を免れて、来世で財物が生ずる。死後、縁戚の者が追善供養をして、会食と供物を献じてても功德は大きい、それよりも、今、自分自身が追善供養するなら、十万の雨も降らなくても<sup>24)</sup>、功德が大きい<sup>25)</sup>。

## 3. 火葬

第三。自分自身の屍体の焼却を自分で行うのはいつでもよいが、自分自身の平常の臍に、赤い「ラム」〔という字〕を一つ観想する。足底に、煙色の「ヤム」を一つ観想する。煙色の「ヤム」から風が揺れて、臍の「ラム」から火が燃えて、熱い智慧の火と安楽の暖かさを持つとき、一切の悪一体の〔五〕蘊と、五毒、分別、執着、愛着、薰習—を制圧して、燃やして、自心の相としての白い「フリー」になると瞑想する。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」という法性の自声から生じたとき、「フリー」が光明に融解して、大悲心者のお体になると瞑想する。死後、屍体を、意味を分かった阿闍梨が燃やすなら、功德は大きい、それよりも、自分自身で業と煩惱を燃やすこの〔瞑想〕は十万倍も功德が大きい。今生で妨害されない。来世で、障蓋に合わないと言われている<sup>26)</sup>。

## 4. 切断した屍体の布施

第四。自分の屍体を自分で見送るのは、いつでも適しているが、自宅にではなく、僧院あ



るいは山道などに出かける。初めに、血肉の物質を持つ、自分のこの体を一切衆生のいずれにもここで与えると思い、観想する。右手を鋭利な刀だと観想する。さらに、それを慧の刀だと認知する。左手で掴んで、慈悲の槌だと認知する。まず先に、この屍体を上半身と下半身に切断する。その後で、それを断片に切る。それから、肉血、血の滴、心臓と肺、内臓、三十二の不浄な物質などいずれも欲しいものを全て与える。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」と〔誦する〕とき、勝敗も争いもないと瞑想する。臨終の際に、屍体を取り出してご馳走にするなら、功德は大きい、それよりも、これは十万倍功德が大きい。自分の体に執着してはならない。今生での死は虚であり、障蓋を除去せよ。来世に、悪趣に行かない<sup>27)</sup>。

### 5. 葬送のお斎（おとき）

第五。自分の屍体を食事として自分で放つことについて。自分自身と他の人がもたらした食事一切を加持して、自分で食べる。自分自身を大悲心者として瞑想する。「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」と〔誦する〕とき、甘露を瞑想する。腹部の天宮に大悲心者がお座りになっていると観想し、飲食を享受するとき、甘露が大悲心者の体全体を満たして、閃光と輝きを持つと観想する。臨終のとき、近くで食物の奉納をするのも功德が大きい、それよりも、こ〔の方法〕が十万倍功德が大きい。尊格が、ガナチャクラなど、栄養を取るようになる<sup>28)</sup>。

### 6. 屍体の運搬（鳥葬）

第六。自分の屍体を自分で運ぶことについて。この自分の身体を材料を息子一明知の若者かつ大悲心者一に与えよ。六道の門を断つ、この「オーン・マ・ニ・ペ・メ・フーン」で、輪廻の住処から運ばれて、大菩提の廬あるいは墓場（dur khrod）に運ばれる。三身仏の鳥と肉食獣に餌として与えよ。〔五〕縄が残らない状態に放たれる。〔あなたが〕死んだとき、息子が〔あなたの〕屍体を運んで、墓場か山に運べば、功德が大きい。六字真言を誦するとき、輪廻が覆される。〔これらが、〕護法王ソンツェンガンポの六つの特別な口伝である<sup>29)</sup>。

### 註

1) MKB (S, e, pp. 10.6-11.1): de la chos skyong ba'i rgyal po chen po thugs rje chen po'i sprul pa des | thugs rje chen po'i yi ge drug pa 'di la skor gsum du mdzad de | mdo skor dang | sgrub skor dang | zhal gdams kyi skor dang gsum | 「護法王大悲心の化身が、この、大悲心の六字真言を三巻にお造りになりました。つまり、「経巻」「成就巻」「口伝巻」の三巻です」。

2) 横殿2022a; 横殿2022b.

3) Gyatso 1981: 103-104, Kapstein 1992: 83; Ehrhard 2000: 200-203.

4) van Schaik 2006: 56.

- 5) Kapstein 2014: 13.
- 6) MKB (S, waṃ, p. 111.1-2); Tsering Trizin Rinpoche 2007: II. 108.
- 7) 禪殿2022b (印刷中).
- 8) 禪殿2018: 57, 2019, 2021a, 2022a.
- 9) 禪殿2022a; 禪殿 2022c (印刷中).
- 10) MKB (S, e, p. 530.2): thugs rje chen po dang rnam par snang mdzad tha mi dad pa.
- 11) 『マニ・カンブン』と真言密教との関連については、北村1982, 2021: 351-382; 禪殿2021b を参照のこと。
- 12) Trizin Tsering Rinpoche 2007: I,645-666の英訳を参照した。
- 13) CF. 禪殿2021b・北村2021: 364.
- 14) MKB (S, e, pp. 449.6-450.4): om maṇi padme hūṃ | bum cho ga la | phyi'i bum pa bca' ba ni | maṇḍal dkar po bya | mchod pa bshams | rang thugs rje chen por sgom | bum par lha sgom | om ma ṇi padme hūṃ | zhes sngags kyi spro bsdu bya | nang gi bum pa ni | tshe 'phos pa de'i rnam shes bkug la bgegs bskrad | gshed dang phral la rnam shes dgug gzhug bya | gsang ba'i bum pa ni | rus bu 'am gos sam ming byang la khrus byas la sdig sgrib dag bar bya | don gyi bum pa ni | las dang nyon mongs byang nas chos nyid kyi don mthong bar bsam mo || rtags kyi bum pa ni | rnam par shes pa rigs drug gi skye sgo bcad nas byang chub tu gnas par 'gyur ro || mtshon pa'i bum pa ni | sngags kyi bsgrugbs la tshe 'das kyi gnas sbyangs | ro bdag gi dge ba rdzogs par bya'o ||; B (fol. 297b2-5).
- 15) MKB (S, e, pp. 450.4-451.2): om ma ṇi padme hūṃ | ro bsreg la | phyi'i ro bsreg ni | ro bkrus nas phung po ras kyi dril | 'gro drug gi skye sgo gcod pa'i yi ge drug pa gdags | shing dong du bcug la me sbar ro || nang gi ro bsreg ni | ro'i snying kar thugs rje chen po bskyed nas | bsreg rdzas yam shing jo bo thugs rje chen po'i zhal du song bar bsam zhing | om ma ṇi padme hūṃ | zhes dbul lo || gsang ba'i ro bsreg ni | bdud rtsir zhu bas thugs rje chen po'i lha tshogs mnyes shing tshim nas | tshe 'das kyi sgrib pa ma lus bzad par bsam mo || don gyi ro bsreg ni | tshe 'das gshin po de'i sdig sgrib sbyangs nas | rnam par shes pa chos kyi dbyings la gnas pas skye ba med par bsam mo || rtags kyi ro bsreg ni | rig pa ma 'gags pa chos kyi sku las | gzugs kyi skus 'gro don rgyun chad med pa byed par bsam mo || mtshon pa'i ro bsreg ni | rus pa dang thal ba bsdu la tsha tsha btab ste | sprul sku mdun gyi rten du bzhag go ||; B (fols. 297b5-298a3).
- 16) MKB (S, e, pp. 451.2-452.1): om ma ṇi padme hūṃ | mtshan byang gi sbyongs la | phyi'i mtshan byang ni | shog bu la tshe 'das kyi ming byang bri | smyug ma tshigs drug pa la | 'gro ba rigs drug gi rten gnas su bsams la gdags so || gdugs dang | 'phan dang | bdun rnam dag 'bul | bum pa bca' | mtshan byang la rnam shes dgug || gshed dang phral te | om ma ṇi padme hūṃ | zhes bzlas te | bdag thugs rje chen por bsgoms la rigs drug gi sgrib pa sbyong zhing | bum pas ming byang la khrus bya'o || nang gi sbyongs ni | mtshan byang la rnam shes bkug la | mdun du shi lus su bsams te dkyil 'khor du gzhug || thugs rje chen por byin gyis brlabs la dbang bskur ro || gsang ba'i sbyongs ni | 'gro drug gi skye sgo bcad la | rnam par shes pa nub phyogs bde ba can gyi zhing kham su lung bstan no || don gyi sbyongs ni | sems chos nyid kyi dbyings su sangs rgyas par byin gyis brlab bo || rtags kyi sbyongs ni | thusg rje rang shar gyi ngang las gzugs skus 'gro don byed par bsam mo || mtshon pa'i sbyongs ni | mtshan byang bsregs la tshe 'das kyi lus sems stong par rgyas gdab | thal ba tsha tshar btab la bzhag go ||; B (fol. 298a3-b1).
- 17) MKB (S, e, pp. 452.1-3): om ma ṇi padme hūṃ | ro dur du gzhug pa la | phyi'i dur chad ni | ro la khrus byas te ro ras gtsang gis dril la | om ma ṇi padme hūṃ | zhes pa gdags | gshed dang phral | lan chags



kyi gtor ma btang ste mchod do || nang gi dur chad ni | ro la rnam shes bkugs dkyil 'khor du dbang bskur | phung po lha'i dkyil 'khor du byas la | bang bu 'am dur du gzhus go || gsang ba'i dur chad ni | ro la sgrub pa byas la phung po sha khrag bla ma yi dam la mchod par bya'o || don gyi dur chad ni | ro thig le nyag gcig chos skur byin gyis brlabs la bzhag go || X [BにはXの文字がない。] | mtshon pa'i dur chad ni | ro 'ang nor du bcas te dur khrod dam ri la bskyal lo || B (fol. 298b1-3).

- 18) MKB (S, e, pp. 452.3-6): ro zan btang ba la | phy'i ro zan btang ba ni | nye drung zhang po lcam mo dang grogs po la sogs pa'i zan la | om ma ni padme hūṃ | zhes pa gang la gang 'os su rgya che ba | zhim par byin gyis brlabs la btang ngo || nang gi ro zan ni | zan la gtor ma byas la tshe 'das rdo rje'i gral du bzhag la | tshogs zas skal du bsngo'o | X [BにXの表記はない。] | don gyi ro zan ni | tshe 'das kyi don du bge ba cu byas pa bla na med pa'i byang chub tu bsngos la | dmigs pa med par rgyas gdab bo || rtags kyi ro zan ni | klog 'don la sogs pa dge ba cu grub bya'o || mtshon pa'i ro zan ni | ro bton nas ston mo bya'o || B (fol. 298b4-6).

- 19) ツェリン・リンポチェの英訳を参照した (Trizin Tsering Rinpoche 2007: II. 108-112)。

- 20) 註6) に言及。

- 21) MKB (S, waṃ, pp. 110.5-111.3): om ma ni padme hūṃ | thugs rje chen po la phyag 'tshal lo || thugs rje chen po'i sprul pa chos skyong ba'i rgyal po srong btsan sgam po'i zhal gdams | rang don khyad par du 'phags pa'i gdams pa lam 'khyer drug la | rang gi dge ba rang gis bya ba dang gcig | rang gi bdun tshigs rang gis bya ba dang gnyis | rang gi ro bsregs rang gis bya ba dang gsum | rang gi ro rdzongs rang gis bya ba dang bzhi | rang gi ro zan rang gis gtad pa dang lnga | rang gi ro khur rang gis byas la sba ba dang drug go || B (waṃ, fol. 48b4-6).

- 22) ツェリン・リンポチェの英訳 (“one round of many”) に従った (Trizin Tsering Rinpoche 2007: II. 109)。

- 23) MKB (S, waṃ, pp. 111.3-112.3): dang po rang gi dge ba rang gis bya ba ni | thugs rje chen pos chos gzhung gis ci byed snying rje dang stong pa 'brel dgos pas | dang po kho na bdag gis sems can thams cad kyi don du | bu dang bu mo dang grogs dang nor rdzas la sogs pa 'khor gsum yongs dag tu 'gro drug gi sems can rnams la sbyin par btang ngo snyam du bsam la || rang thugs rje chen por skad cig gis bskyed la lag pa mchog sbyin gyi phyag rgya bcas la | rang gi bu dang bu mo rdzas la sogs pa thams cad spyi mthun du 'gro ba rigs drug gi sems can thams cad la gang la gang 'dod sbyin par btang ngo || om ma ni padme hūṃ | zhes brjod pas | gang la gang 'dod ci la ci 'dod 'byung bar bsam mo || de yang rang gi 'khor longs spyod gnod dam snyam na blos ma thongs pa yin pas | chags zhen gyi bcings pas bsod nams kyi tshogs su mi 'gyur ro || chags med zhen med du btang na | tshe 'di la 'khor dang longs spyod 'phel | nad dang sdug bsngal zhi nas | phyi ma la longs spyod dang bsod nams dpag tu med pa thob par 'gyur ro || de yang mi la 'di ltar 'khor gsum yongs dag gtong thabs yod bya ba brjod du mi rung ste | 'o na khyod kyis nga la bu dang bu mo dang nor la sogs pa slong dang zer nas sun 'byin pa 'ong bas | de bdud ngag la zhugs pa bya ba yin pas | gzhan la gsang ba gal che'o || 'jig rten na dge ba chen po byed pa bsod nams che ste de yang kor le gcig tsam yin | 'gro ba rigs drug la sbyin sogs bya ba'i sems sbyong ba yin pas bsod nams 'di las che ba med do || (B, waṃ, fols. 48b6-49a6). 「心の浄化」(sems sbyong) という用語は『法句経』第183偈にある「自己の心を浄くする」(片山2000: 180, 182) に由来するのではないだろうか。

- 24) Cf. ツェリン・リンポチェは、“even if it does not reach heaps of it” と訳している (Trizin Tsering Rinpoche 2007: II. 100)。

- 25) MKB (S, waṃ, pp. 112.4-113.5): gnyis pa rang gi bdun tshigs rang gis bya ba ni | tshes brgyad dang

| nya dang nyi shu gnyis dang | nyi shu dgu'am | gnam stong la de tsho'i bar na zhag bdun re yod pas  
 | dus bzang po de dag la | dkon mchog la mchod pa ci 'byor dbul | 'gro drug la sbyin gtong ci 'grub  
 bya | rang thugs rje chen por bsgom | sbyin gtong che chung ci grub la | om ma ni padme hūṃ | zhes  
 pa lan bdun brjod la | 'gro drug gi sems can la gang la gang 'dod ci la ci 'dod 'byung bar bsams la  
 sbyin gtong ci 'grub btang | khams gsum dag pa'i zhing | srid gsum thugs rje'i mgron || ma lus khyab  
 pa'i rdzas | chos nyid rtogs pa'i mthus | mi zad gter du bsngo || ces lan gsum brjod | 'dod khams |  
 gzugs khams | gzugs med khams gsum po thams cad thugs rje chen po'i zhing khams su bsam |  
 steng lha dang lha ma yin gyi srid pa | bar mi dang byol song gi srid pa | 'og dmyal ba dang yi dags  
 kyi srid pa ste | srid pa gsum snying rje'i mgron du byas te | 'gro drug gi sems can la che chung  
 dang pham rgyal med par khyab par byas la chos nyid kyi don stong pa dang snying rje zung 'jug tu  
 'brel ba'i mthus | zag pa med pa'i rin po che'i gter du bsngos la btang ngo || de ltar zla ba re la sbyin  
 gtong thebs bzhi re btong nas bdun tshigs rgyun mi bcad de | tshe 'di la rkyen zlog phyi ma la longs  
 spyod phun sum tshogs pa 'byung ngo || shi nas nye 'brel gyis bdun tshigs bzung nas | ston mo dang  
 sbyin gtong byas pa de yang bsod nams che ste | de bas kyang da lta rang gis bdun tshigs bzung na  
 brgya stong gi char yang mi phod pas bsod nams che'o ||; B (fol. 49a6-b6).

26) MKB (S, waṃ, pp. 113.5-114.3): gsum pa rang gi ro bsreg rang gis bya ba ni | dus nam yang rung  
 ste | rang tha mal ba'i lte bar | raṃ dmar po zhiḡ bsam | rkang mthil du yaṃ dud kha cig bsam | yaṃ  
 dud kha de las rlung g.yos pas lte ba'i raṃ las me 'bar bas ye shes kyi me tsha zhing bde ba'i drod  
 dang ldan pas | lus kyi phung po dang | dug lnga dang | rnam rtog dang | mngon zhen dang | chags  
 zhen dang bag chags ngan pa thams cad btul la bsregs nas rang gi sems kyi rnam pa hriḡ dkar po  
 zhiḡ tu gyur par bsam mo || om ma ni padme hūṃ | zhes chos nyid kyi rang sgra las byung bas | hriḡ  
 'od du zhu nas thugs rje chen po'i skur gyur par bsam mo || shi nas ro slob dpon dgongs pa can gyis  
 bsregs na bsod nams che ste | de bas kyang rang gis las dang nyon mongs pa bsregs pa 'di brgya  
 stong gis bsod nams che'o || tshe 'di la bar chod kyis mi tshugs | phyi ma la sgrib pa mi sog gsung  
 ngo ||; B (waṃ, fols. 49b6-50a4).

27) MKB (S, waṃ, pp. 114.3-115.1): bzhi pa rang gi ro rdzongs rang gis bya ba ni dus nam yang rung  
 ste | rang gi khyim ma yin pa | dgon pa'am | ri kha la sogs par phyin la | dang po rang gi lus sha  
 khrag gi gdos bcas 'di | sems can thams cad la gang la gang 'dir sbyin snyam du bsams la | lag pa  
 gyas pa mtshon rnon por bsam | de yang shes rab kyi ral grir shes par bya | lag pa g.yon pas bzung  
 la snying rje'i skam par shes par bya | lus 'di sngon du ro stod ro smad du bcad | de nas gzug tu gsil |  
 de nas sha kham re | khrag thigs re | glo snying | nang khrol | mi gtsang ba'i rdzas sum cu rtsa gnyis  
 la sogs pa gang la gang 'dod pa thams cad sbyin no || om ma ni padme hūṃ | zhes pas pham rgyal  
 dang 'thab rtsod med par bsam | shi tsa na ro bton ston mo byas na bsod nams che ste | de bas  
 kyang 'di brgya stong gis bsod nams che'o || lus la zhen chags mi bya'o || tshe 'di la shi ba slu zhing  
 bar chad sel || phyi ma ngan song du mi 'gro'o ||; B (fol.50a4-b3).

28) MKB (S, waṃ, pp. 115.1-4): lnga pa rang gi ro zan rang gis btang ba ni | rang gzhan gyis drangs pa'i  
 zas skom thams cad byin gyis brlabs la rang bza' ste | rang nyid thugs rje chen por bsgoms la | om  
 ma ni padme hūṃ | zhes pas bdud rtsir bsam | lto ba gzhal yas khang na thugs rje chen po bzhugs  
 par bsams la zas skom la spyod pas | bdud rtsis thugs rje chen po'i lus kun khyab nas | bkrag dang  
 gzi mdangs dang ldan par bsam mo || shi rtsa na nye drung gis zas gtad pa de yang bsod nams che  
 ste | de bas kyang 'di bsod nams brgya stong gis che'o || lha la tshogs sog | zas bcud len du 'gyur ro ||;  
 B (waṃ, fol. 50b1-3).

29) MKB (S, waṃ, pp. 115.4-116.1): drug pa rang gi ro khur rang gis byed pa ni | rang lus bem po 'di bu rig pa'i khye'u thugs rje chen po la bskur la | oṃ ma ṇi padme hūṃ | zhes pa rigs drug skye sgo gcod pa 'dis | 'khor ba'i gnas nas khur la | byang chub chen po'i ri khrod dam dur khrod du bskyal lo || sku gsum sangs rgyas kyi bya dang gcan gzan la zas su sbyin no || phung po lhag med kyi ngang du btang ngo || shi rtsa na bus ro khur nas dur khrod dam ri la bskyal na bsod nams che ste | de bas kyang 'di brgya stong khri 'bum la sogs pas bsod nams che'o || yi ge drug pa bzlas pas 'khor ba dong sprugs par 'gyur ro || chos skyong ba'i rgyal po srong btsan sgam po'i gdams pa thun mong ma yin pa drug go || ithi ||; B (waṃ, fol. 50b4-6). I thank Professor Jacob Dalton for reading this sixth section with me at the British Library in 2004. この第6項目は2004年に、大英図書館において、ジェイコブ・ダルトン氏（現カリフォルニア大学バークレー校教授）に読んでいただいた。謝意を表する。

### 〈参考文献〉

#### （1 次文献）

BCKKMB=*Bka' chems ka khol ma*. Mtsho sngon mi rigs par khang, 1989.

*Maṇi bka' 'bum*. B = デブン版 Bod gzhung shes rig par khang. 1995年；S= プナカ版 *Ma ṇi bka' 'bum: A collection of rediscovered teachings focussing upon the tutelary deity Avalokiteśvara (Mahākaruṇika)*. Reproduced from a print from the no longer extant Spuñs-thaṅ (Punakha) blocks by Trayang and Jamyang Samten. Vol. I (E), Vol. II (Waṃ). New Delhi, 1975.

#### （2 次文献）（英文）

Gyatso, Janet. 1981. *A Literary Transmission of the Traditions of Thang-stong rgyal-po: A Study of Visionary Buddhism in Tibet*. Ph.D. Dissertation from University of California, Berkeley. UMI: 8211946.

Ehrhard, Franz-Karl. 2000. *Vividharatnakaraṇḍaka: Festgabe für Adelheid Mette*. Ed. Christine Chojnacki, Jens-Uwe Hartmann and Volker M. Tschannerl. Swisttal-Odendorf: India et Tibetica Verlag, pp. 199-214.

Kapstein, Matthew. 1992. "Remarks on the *Maṇi bka' 'bum* and the Cult of Avalokiteśvara in Tibet." In Goodman, Steven D and Ronald M. Davidson (eds.) *Tibetan Buddhism: Reason and Revelation*. Albany, NY: SUNY.

Kapstein, Matthew. 2014. *Tibetan Buddhism A Very Short Introduction*. Oxford et. al.: Oxford University Press.

His Eminence Trizin Tsering Rinpoche. 2007. *Maṇi Kabum: Profecies & Teachings of Great Compassion*. Vol. I and II, 2007, n.p.

Makidono, Tomoko. 2014. "Vestiges of Religious Interaction Embedded in the *Maṇi bka' 'bum*: The Origins and the Development of the Cult of the Bodhisattva Avalokiteśvara." *The Indian International Journal of Buddhist Studies* 15, pp. 135-198.

Mallmann, Marie Therese de. 1948. *Introduction a l'étude d'Avalokiteṣvara*. Annales du Musée Guimet. Bibliothèque d'études, vol. 157. Paris.

van Schaik, Sam. 2006. "The Tibetan Avalokiteśvara Cult in the Tenth Century: Evidence From The Dunhuang Manuscrs." In *Tibetan Buddhist Literature and Praxis. Studies in its Formative Period, 900-1400*. PIATS 2003: Tibetan Studies: Proceedings of the Tenth Seminar of the International Association for Tibetan Studies, Oxford, 2003. Managing Editor: Charles Ramble. Edited by Ronald

M. Davidson and Christian K. Wedemeyer. Leiden-Boston: Brill.

（和文）

片山一良2000「原始仏教における善悪：『法句』第183偈の意味するもの」『日本仏教学会年報』第65号、179-194頁。

北村太道1982「ラマ教における儀礼」『チベット密教の研究：西チベット・ラダックのラマ教文化について』インドチベット研究会編、種智院大学密教学会、永田文昌堂、347-396頁。

北村太道2021『チベット密教儀礼の研究：文献と現地調査による解明』起心書房。

禰殿伴子2018「『マニ・カンブン』の木版印刷版について」『佛教学』佛教思想学会編、山喜房佛書林、53-80頁。

禰殿伴子2019「『マニ・カンブン』におけるチェンポ・スム（三つの偉大なもの）と自心仏」『Acta Tibetica et Buddhica』第12号、79-97頁。

禰殿伴子2021a「『マニ・カンブン』における如来蔵思想」『印度學佛教学研究』第69巻第2号、810-806頁。

禰殿伴子2021b「『マニ・カンブン』における観自在菩薩の灌頂儀礼：自心の教え」『印度學佛教学研究』第70巻第1号、368-363頁。

禰殿伴子2022a「『マニ・カンブン』における観自在菩薩の六字真言成就儀軌王統流」『宗教研究』第95巻別冊、196-197頁。

禰殿伴子2022b「『マニ・カンブン』における「ナーローの六法」：観自在菩薩の「実践指南」(dmar khrid)」『日蓮学』第6号、(印刷中)。

禰殿伴子2022c「『マニ・カンブン』における観自在菩薩の「六字真言成就法」：ソンツェンガンボ王の伝統（分科と試訳）」『身延論叢』第27号、(印刷中)。

（令和4年度科学研究費基盤研究C課題番号22K00062「チベットにおける如来蔵思想史の再構築：「ソンツェンガンボ王の遺言書」を基にして」による研究成果の一部）

〈キーワード〉マニ・カンブン、葬儀法、自心仏、観自在菩薩の成就法（dmar khrid）、即身成仏